学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	クラフト実習Ⅲ	単位数	４単位	年次	４年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

金属工芸の知識と技術を習得し、これまでに学んだ基礎技術を活かしながら造形的な創造活動の応用的な知識を培う。
使用する材料についての理解や的確な加工技術と表現力の習熟や直感力と立体感覚を身につけ、、計画的および発展的なアイデアを開発していく力を身につけます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・立体造形を学ぶなかで金属加工、接合に関する応用的な知識と技術を習得するとともに立体造形の構成で材料は適正か、十分な強度を有するか、安全性が確保されているかを総合的に判断できる能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
・立体造形の構成過程で鍛金の技術やデザインの課題をみつけ、課題を解決するための思考・判断を行う態度を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
・金属や立体造形に関心をもち、金属の加工技術を積極的に行う態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	金属工芸に関する知識と技術を身につけている。 安全に作業を行う方法を理解している。	制作課題に対し学んだ技術を適切に活用し、独創的な制作物を表現することができる。	造形活動の喜びを味わい、制作に向けて意欲的に取り組み、根気よく作業を行う態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	金属による造形Ⅰ	金属材料とその特性について 道具や工作機械の使い方 材料の加工方法 作品制作 安全教育	a:金属に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 B:課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用し、独創的な制作物を表現することができる。 C:政策課題に対し関心をもって意欲的に取り組んでいる。	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート 振り返りシート
二学期	金属による造形Ⅱ	金属材料とその特性について 道具や工作機械の使い方 材料の加工方法と着色技法の習得 作品制作 安全教育	a:金属に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 B:課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用し、独創的な制作物を表現することができる。 C:政策課題に対し関心をもって意欲的に取り組んでいる。	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート 振り返りシート
三学期		金属材料とその特性について 道具や工作機械の使い方 材料の加工方法 作品の仕上げ 安全教育	a:金属に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。 B:課題の趣旨を理解し学んだ技術を適切に判断・活用し、独創的な制作物を表現することができる。 C:政策課題に対し関心をもって意欲的に取り組んでいる。	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート	制作物 アイデアスケッチ 授業態度 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度